

世の中の動きに 目を向けよう！



特別編

2019年「重大ニュース」

今回は特別編として、2019年の主な出来事をまとめた「2019年重大ニュース」をお送りします。去年1年間も実に様々な出来事が起こりました。今年の世の中の動きを予測するためにも、去年のことをしっかりと振り返ることはとても重要です。高校入試の面接では「1年間で気になったニュースは何ですか？」といった質問をされることもあります。また、課題作文や小論文にも時事問題は大きい役に立ちます。是非、ご一読下さい！

1
月

■ 世界で初めて「月の裏側」に着陸

中国の宇宙船が世界で初めて月の裏側への着陸に成功した。

■ 徴用工問題で日韓関係悪化へ

韓国人元徴用工の問題を巡り、韓国裁判所は韓国国内にある日本企業の資産差し押さえを認める判決を出した。それに対して日本は7月から韓国向けの輸出管理を厳格化した。そして韓国では日本製品不買運動が起き、8月には韓国政府はGSOMIA（日韓軍事情報包括保護協定）の破棄を通告（後に回避された）するなど日韓関係は悪化した。

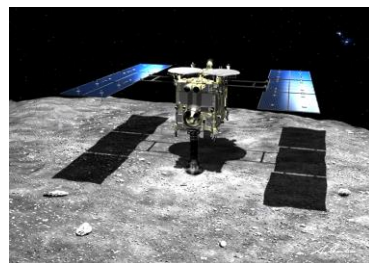
■ 大坂なおみ選手が世界ランキング1位。

テニスの四大大会の一つ、全豪オープン女子シングルスで、大坂なおみ選手が日本人として初めて優勝。その結果、アジア選手として男女初の世界ランキング1位になった。

2
月

■ 探査機はやぶさ2、小惑星リュウグウに着陸成功

2014年に打ち上げられた探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」への着陸に成功し、石や砂などの試料を採取した。11月には地球に向けて出発し、1年後に地球に戻る予定。



■ 辺野古埋め立て「反対」7割。

沖縄県の米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に伴う埋め立ての賛否を問う県民投票が投開票され、反対票が全体の7割を占めた。しかし、今回の結果による法的拘束力はなく、工事は続いている。

■ ハノイで2回目の米朝首脳会談

ベトナムの首都ハノイで、昨年6月以来、2回目の米朝首脳会談が行われた。共同声明の署名には至らなかった。6月には朝鮮半島の南北軍事境界線上の板門店で3回目の会談が行われ、トランプ大統領は米大統領として初めて北朝鮮に足を踏み入れた。

3
・
4
月

■ イチロー引退

日本プロ野球と米大リーグでプレーし、日米通算4367安打を記録したマリナーズのイチロー選手が、現役引退を表明した。

■ 2024年度に新紙幣

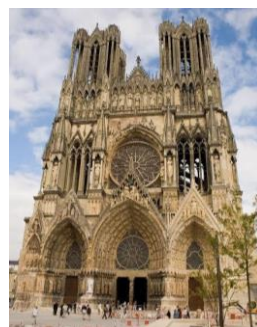
財務省は1万円、5千円、千円の紙幣（日本銀行券）を約20年ぶりに刷新して2024年度から発行すると発表した。肖像画は1万円札は渋沢栄一、5千円札は津田梅子、千円札は北里柴三郎がそれぞれ選ばれた。

■ 世界初ブラックホールの撮影に成功

地球から約5500光年離れた銀河の中心にある巨大なブラックホールの撮影に成功した。これはアインシュタインが「相対性理論」で予言したことを裏付けるものとなった。

■ ノートルダム大聖堂で火災

フランスの首都パリにある観光名所ノートルダム大聖堂で大規模な火災が発生した。この大聖堂はフランスを代表するゴシック建築物で1991年に世界文化遺産にも指定されていた。



5月

■ 新元号「令和」

平成の天皇陛下が4月30日に退位され、皇太子徳仁親王殿下が5月1日に第126代天皇に即位された。皇位継承に伴い、元号が「令和」に改められた。10月22日には即位を内外に宣言する「即位礼正殿の儀」が行われた。同日予定していたパレード「祝賀御列の儀」は台風19号による被害を考慮し11月10日に延期して行われた。平成天皇は「上皇」となり、平成皇后は「上皇后」と呼ばれることになった。また、「令和」の名称の由来は日本最古の歌集である万葉集であり、元号の典拠が日本の古典（国書）となるのは初めてのこと。

■ 令和初の国賓

トランプ米大統領が、令和初の国賓として来日し、日米首脳会談が行われた。安倍首相はトランプ氏とゴルフや相撲観戦などを共にし、親密ぶりをアピールした。

6月

■ 老後資金に2000万円必要？

金融審査会が、老後資金として年金以外に約2000万円の資金が必要とする報告書を発表し、波紋を呼んだ。

■ 将棋・羽生善治九段、通算勝利歴代単独1位に

将棋の羽生善治九段が、歴代単独1位となる公式戦通算1434勝に到達し、大山康晴十五世名人の記録を27年ぶりに更新した。

■ 香港で大規模デモ

香港では、中国本土などへの犯罪容疑者引き渡しを可能にする「逃亡犯条例」改正案に反対し、大規模な抗議デモが行われた。その後香港政府は9月に改正案撤回を発表したが、その後も要求を強めるデモ隊と警官隊の衝突は続いている。11月24日の区議会選挙では、抵抗運動を支持する民主派が議席のうち選挙で選ばれる全議席の約85%を獲得して大勝した。

■ G20サミットが大阪で開催

日本初開催の主要20カ国・地域首脳会議（G20サミット）が大阪市で開催された。自由貿易の原則を明記した首脳宣言を採択した。

7月

■ 日本、商業捕鯨再開

日本の商業捕鯨が31年ぶりに再会された。日本は国際捕鯨委員会（IWC）の決定に従い、商業捕鯨を一時中止して調査捕鯨を行っていたが、6月30日にIWCから脱退した。

■ 大阪の古墳群が世界遺産に

国連科学教育文化機関（ユネスコ・UNESCO）は大阪南部にある仁徳天皇陵を含む「百舌鳥・古市古墳群」を世界文化遺産に登録することを決定した。



■ 参院選で与党が勝利

第25回参院選で与党の自民党と公明党で過半数（63議席）を上回る71議席を獲得。しかし、憲法改正の国会発議要件となる参議院全議席の3分の2は下回った。

また投票率は過去2番目の低さ（48.80%）であった。

8月

■ 米ロ INF 全廃条約が失効

アメリカとロシアは冷戦時代の1987年（旧ソ連時代）に締結した中距離核戦力（INF）全廃条約が失効した。これにより、ミサイル開発競争が本格化する懸念が広がった。

■ ゴルフ・渋野日向子が全英女子優勝

女子ゴルフの渋野日向子選手が、全英女子オープンで初優勝を果たした。日本勢の海外メジャー制覇は男女を通じて42年ぶり2人目の快挙。

9
月

■ 内閣改造、小泉氏ら13人が初入閣

第4次安倍再改造内閣が発足。目玉の小泉進次郎環境相を含む13人が初入閣を果たした。

■ ラグビーW杯日本大会

ラグビー・ワールドカップ日本大会が行われた。日本代表は予選リーグ4戦全勝で初のベスト8入りを果たす快挙を成し遂げたが、準々決勝で南アフリカ代表に敗れた。

■ 16歳グレタさんが国連で演説

スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんが、アメリカ・ニューヨークの国連本部で開かれた「気候行動サミット」で演説した。16歳のグレタさんの行動は、若者の気候変動問題に対する意識に影響を与え、アメリカの雑誌「タイム」が選ぶ今年の人にも選ばれた。それに対してトランプ米大統領はツイッターで批判を行った。

10
月

■ 消費税10%

10月1日より消費税率が8%から10%に引き上げられた。酒類・外食を除く飲料食は軽減税率8%が適用される。今回の増税に合わせて幼児教育・保育の無償化も始まった。

■ ノーベル化学賞に吉野彰氏

今年度のノーベル化学賞を吉野彰氏が受賞した。同氏は携帯電話などに不可欠なリチウムイオン電池の開発に寄与し、現在の情報化社会を支えるほか、地球温暖化の解決にもつながるとされ、その功績が認められての受賞となった。

■ 東日本で台風大雨被害

東日本を中心に台風大雨の被害が相次いだ。9月の台風15号では、千葉県で大規模停電が発生。台風19号では土砂崩れ、台風21号に伴う記録的な大雨では各地で河川の氾濫が発生し大きな被害となった。

■ 沖縄・首里城焼失

沖縄県那覇市で火災が発生し、世界遺産に指定されている首里城の複数の建造物が焼失した。この城は尚氏の琉球王国の幾多の興亡を伝えるものであった。



11
月

■ 大学共通テスト英語民間試験見送り

2020年度から始まる大学入学共通テストで導入予定だった英語民間試験導入について、政府は活用見送りを発表した。また12月には国語・数学の記述式問題の導入見送りも発表された。

■ アメリカ「パリ協定」離脱

アメリカは地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」からの離脱を国連に正式に通達した。通告から1年後に脱退が完了する。温室効果ガスの排出量が中国に次ぐ世界2位の米国の離脱表明に、国際社会から批判が起きた。

■ ローマ教皇が38年ぶりに来日

ローマ教皇フランシスコが来日。ローマ教皇の来日は38年ぶり2回目。被爆地の長崎と広島を訪問して核兵器廃絶を訴えたほか、天皇陛下と会見し、安倍首相と会談した。

12
月

■ 日本漢字検定協会が主催する2019年度の漢字一字は『令』

■ 英下院総選挙、EU離脱派の保守党が大勝

EU（欧州連合）離脱問題の命運が懸かった英下院選挙で、ジョンソン首相率いる与党保守党が365議席を獲得して大勝した。選挙前から大幅に議席を伸ばしたことで、イギリスのEU離脱が改めて確実な情勢となった。

※2019年12月18日現在のものです。